

医療用品（05）副木  
一般医療機器/真空成形型副木  
**EVS バキュームスプリント**

【警告】

適応対象

1. 要救護者の使用部位に合わせた物を使用すること。
2. 装着時には、要救護者の ABC(呼吸と循環)を確保すること。
3. 本器以外の必要な固定は、専用の固定具を使用すること。

【禁忌・禁止】

1. 本器の使用は、医師及び医師の指示を受けた看護師及び救急救命士又は体位固定に関し、専門的な知識を持ち本器の使用方法を熟知した者に限る。
2. 本器の装着は、要救護者の状態を確認しながら、二次的災害等の発生しない場所で行うこと。
3. 使用前後は、本器の状態を確認し、破損等を発見した場合は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜全身マット型スプリントセット（標準）＞



構成（数量）

| 名称             | 数量 |
|----------------|----|
| 全身マットスプリント（標準） | 1  |
| フット型バキュームポンプ   | 1  |
| 専用キャリングバッグ     | 1  |

＜全身マット型スプリントセット（小児）＞



構成（数量）

| 名称             | 数量 |
|----------------|----|
| 全身マットスプリント（小児） | 1  |
| フット型バキュームポンプ   | 1  |
| 専用キャリングバッグ     | 1  |

＜部分固定用スプリントセット＞



構成（数量）

| 名称                | 数量 |
|-------------------|----|
| 部分固定用スプリント（L サイズ） | 1  |
| 部分固定用スプリント（M サイズ） | 1  |
| 部分固定用スプリント（S サイズ） | 1  |
| ハンド型バキュームポンプ      | 1  |
| 専用キャリングバッグ        | 1  |

セット名・構成

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| セット A | 全身マット型スプリント（標準）と部分固定用スプリントセット |
| セット B | 全身マット型スプリント（標準）のセット           |
| セット C | 部分固定用スプリント（サイズ：L・M・S）のセット     |
| セット D | 全身マット型スプリント（小児）のセット           |

許容範囲と寸法・質量

| 項目      | 品名                | 規格(±10%)          |
|---------|-------------------|-------------------|
| 許 容 重 量 | 全身マット型スプリント（標準）   | 159kg             |
|         | 全身マット型スプリント（小児）   | 34kg              |
| 寸 法 質 量 | 全身マット型スプリント（標準）   | 200x75cm<br>5.5kg |
|         | 全身マット型スプリント（小児）   | 127x51cm<br>2.3kg |
|         | 部分固定用スプリント（L サイズ） | 101x76cm<br>0.9kg |
|         | 部分固定用スプリント（M サイズ） | 70x51cm<br>0.5kg  |
|         | 部分固定用スプリント（S サイズ） | 50x33cm<br>0.2kg  |
|         | フット型バキュームポンプ      | 13x55cm<br>1.1kg  |
|         | ハンド型バキュームポンプ      | 10x17cm<br>0.7kg  |
|         | バキュームホース          | Φ16x90cm<br>0.2kg |

原理

本器を要救護者の体（部位）の輪郭にモールドイングさせ、付属のバキュームポンプを本器の専用バルブ部に接続し内部のエアを抜くことにより、内部のピース間が密着し適度な固定強度を得られる。

包装

各型式について1式単位で梱包

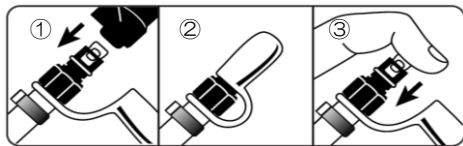
【使用目的又は効果】

受傷した身体部分を固定するために用いる器具をいう。受傷した部位の周囲に設置して本品から空気を抜くことによって固定する。

【使用方法等】

■使用前準備（全身マット・部分固定スプリント共通）

1. 術者は、感染を防ぐために白衣・手袋・マスク・メガネ等必要な装備を装着すること。
2. 要救護者の状態（部位）に応じたスプリントを選択する。
3. 保管時に内部エアを抜いている場合は、専用バルブを操作し少しエアを入れ柔らかな状態にする。
4. スプリントを広げ内部ピースを均一にする。均一になったらピースの自由な移動を防ぐ程度の減圧を行う。
5. 本器で固定する患部以外で固定が必要と判断できる部位（頸椎等）は、専用の固定具で固定すること。
6. 固定処置の前に、要救護者の ABC（呼吸及び循環）が正しく行われていることを確認すること。



#### ■バルブの操作方法

- ① 専用バルブには、バキュームホースがワンタッチで接続可能です。
- ② 未使用時は、必ず赤いキャップを装着してください。
- ③ 減圧の微調整は、図の様にバルブ先端を押すことで可能になります。

#### ■使用方法（全身マツスプリント）

1. 本器を要救護者の近くの平らな場所に置きます。本器には「頭と肩」のロゴが印刷されていますので位置の目安に利用できます。
2. 要救護者に差込む側の固定ベルトを外します。
3. 必要に応じた固定を行なった要救護者の下に本器を差込みます。この時、頭や肩の位置をロゴに合うようにします。又は、固定ベルトが脇下に位置するようにします。
4. 要救護者をモールディングし易い程度に専用バルブを操作しエアを入れます。
5. 取外した側の固定ベルトを正規の位置に取り付けます。
6. 本器と要救護者との隙間が出ないようにモールディングしながら固定ベルトを締めていきます。
7. 本器は減圧すると体積が減るので、減圧しながら要救護者の固定に緩みが出ないように更に固定ベルトを締めて微調整します。
8. 完全な固定が行えたら、ハンドルを利用し要救護者を目的の場所まで搬送します。
9. 本器の取外しは、専用バルブを操作してエアを入れて柔らかくします。標準的な看護技法を用いて本器を取り外します。



装着例

#### ■使用方法（部分固定スプリント）

##### 固定例：部分固定スプリント L

1. 負傷した部位を露出させる。
2. 皮膚の色等を確認し、可能な外傷処置を行う。
3. 患部に応じたスプリントを準備する。
4. 収納時に減圧してある場合は、専用バルブのキャップを外しバルブ操作でエアを入れ、スプリントを広げ内部ビーズを均一にする。
5. 均一になったらビーズの自由な移動を防ぐ程度の減圧を行う。
6. 患部を支えながら、スプリントを差込む。



7. 患部を本器でモールディングします。
8. 本器が硬く操作が困難な時は、専用バルブを操作し適切な硬さに変更する。

9. 本器と要救護者との隙間が出ないようにモールディングします。

10. 本器に専用のバキュームポンプを接続します。

11. 本器は減圧すると体積が減るので、減圧しながら要救護者の固定に緩みが出ないように注意します。

12. 適切に減圧した後、バキュームポンプを外しエアリーク等により固定が緩まないことを確認します。

13. 最後に固定ベルトを使用し、完全に固定します。

14. 固定後に減圧の微調整は、バルブの操作又はバキュームポンプで行います。



固定例：部分固定スプリント MS  
足首の固定方法（一例）



固定例：部分固定スプリント L  
肩の固定



|                          |                                                                                   |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 固定例：部分固定スプリント<br>肩の固定    |  |
| 違うサイズ2枚を重ねて使用する<br>ことも可能 |  |
| 乳幼児の固定例                  |  |

#### 【使用後の処置（全身マット・部分固定スプリント共通）】

1. 本器表面の汚れを中性洗剤等で清拭してください。
2. 収納の際は、軽く減圧すると体積が減り安易に行えます。
3. 保管は、本器に過度な力が掛からない場所で保管します。

#### 【修理について】



#### ＜リペアキット内容品＞

- 1 接着剤
- 2 修理シート（半透明）
- 3 応急処置用パッチ（TYPE B）

- ・ピンホール（穴/0.3mm 以内）  
修理面の汚れ・油分を除去し乾燥させてください。  
付属の接着剤をピンホールに少量垂らし、本器を少し減圧し内部に接着剤を浸透させます。  
修理後は 24 時間放置してください。
- ・ピンホール又は切れ（1.9cm 以内）  
修理面の汚れ・油分を除去し乾燥させてください。  
付属の接着剤を本器及び適切な大きさにカットした修理シートに塗布し修理箇所貼り付け強く圧迫します。  
修理後は 24 時間放置してください。
- ・切れ（2.0cm 以上）  
1.9cm 以内の修理方法と同様に修理頂き、密閉が得られれば継続してご使用頂けますが、原則として修理は不可とお考えください。

#### 【保証について】

本器は、納品時の不良（製造工程及び原材料に関係する場合）のみ交換等の対応をさせていただきますが、使用後の修理は行っておりませんので取り扱いには十分ご注意願います。

#### 【使用上の注意】

##### 重要な基本的注意

##### ＜機器について＞

- ・ 本器は、鋭く尖ったものや重い物等、穴や傷を付ける可能性のあるものの近くで使用・保管しないでください。
- ・ 装着時等、地面（床）等で引きずる行為は破損に繋がります。
- ・ 航空機等で使用中、高度による気圧の変化で本器の固定力に変化が出る場合がありますので、適切に対応してください。
- ・ 車載時等、マフラーなどの高温になる場所に保管すると本器が破損する場合があります。
- ・ 乾燥機（電気・ガス）は使用しないでください。
- ・ 洗浄時等に本器内部に水分が入らないように注意してください。

#### ＜使用について＞

- ・ 本器を使用する前には、使用方法等をトレーニングしてください。
- ・ 本器の使用は有資格者となります。また、使用・搬送には最低2名の従事者が必要です。尚、身体的能力も要救護者の搬送が可能な方とします。搬送には、要救護者の体重を考慮した人数で搬送してください。
- ・ 本器を使用目的以外の使用は絶対に避けてください。
- ・ 本器への陽圧・減圧を“口”で行うことは絶対に避けてください。
- ・ 装着の際、本器の端が重なることは十分な固定ができないので避けてください。尚、適切に患部が監視できるように装着してください。
- ・ 全身マットでの患者ベルト使用は、要救護者の呼吸の妨げや負傷箇所の圧迫にならないように配慮してください。
- ・ 固定ベルトを締める際は、本器が回転する場合があります。適度の力で締めるようにしてください。
- ・ 全身マットを持ち上げる際は、必ず本器のハンドル部を使用してください。また、必要に応じて他の搬送器具と併用することも考慮してください。

#### ＜妊婦・産婦・授乳婦及び小児等への適用＞

- ・ 小児の場合、頸椎を自然な状態に保つために、胸部分を持ち上げる必要があります。小児用マットでは、必要に応じて頭部を凹ませる調整を行ってください。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 使用環境条件

使用温度範囲：-34～66℃

#### 【保守点検に係る事項】

- ・ いつでも使用できるように保守・点検を実施してください。
- ・ 使用に必要な構成部品は専用キャリングバッグに収納して保管してください。
- ・ 血液が付着した場合は、専用のクリーナーで洗浄し、感染の危険性を無くしてください。

#### ＜保守・点検の主な内容＞

| 項目       | 内容                               |
|----------|----------------------------------|
| スプリント    | ピンホール・破れ等破損が無いこと。<br>湿り・汚れが無いこと。 |
| ホースキャップ  | 紛失・緩み・亀裂が無いこと。                   |
| ホースバルブ   | 正常に作動すること。                       |
| バキュームポンプ | 正常に作動すること。<br>油切れしていないこと。        |

#### ＜廃棄＞

使用できなくなった本器は、医療廃棄物として自治体の規定にしたがって廃棄処理してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

「製造販売業者の名称及び住所」



〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5  
TEL 0466-84-2485/FAX 0466-84-2484  
e-mail info@wako-shoji.com  
URL <http://www.wako-shoji.com/>

「製造業者の名称及び国名」＊

Tri-Tech Forensics, Inc dba Hartwell Medical (アメリカ)

本書は、取扱説明書を兼ねています。必ずお読み頂き大切に保管して下さい。